



AWS Simple Monthly Calculator

(簡易見積ツール)
解説資料

2015年4月 更新版

目次

- AWS Simple Monthly Calculatorとは
- AWS Simple Monthly Calculatorを利用するには
- 基本設定
- Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)
- Amazon Elastic Block Store (EBS)
- その他 EC2/EBS関連
- Amazon Simple Storage Service (S3)
- Amazon Relational Database Service (RDS)
- Amazon Virtual Private Cloud (VPC)
- Amazon CloudFront (CloudFront)
- AWS Support
- 費用の確認方法
- 見積結果の共有
- データ転送量について
- 参考情報

AWS Simple Monthly Calculatorとは

- AWS Simple Monthly Calculatorは、AWSのクラウドサービスの費用を見積るためのツールです。
- 必要な項目を入れるだけで、毎月の費用をシミュレーションする事が可能です。
- どなたでも自由に利用でき、計算結果のページを共有する事もできます。
- 推奨ブラウザはFirefoxもしくはGoogle Chromeです。

Simple Monthly Calculator を利用するには

<http://aws.amazon.com/jp/how-to-understand-pricing/>

メニュー



日本語

アカウント

サインアップ

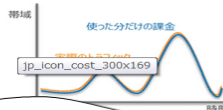
AWS 課金体系と見積り方法について

今すぐ無料でお試し >>

導入・資料請求のお問い合わせ

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は、今や、Web系のフロントエンドシステムのみならず、業務アプリケーション、ビッグデータ活用、ソーシャルゲームプラットフォームなど幅広い用途にてご活用いただいています。

ここでは、新たにAWS クラウドのご利用をご検討いただくお客様のために、お客様からよく AWS クラウドに関するご質問としていただく課金体系についてわかりやすくご紹介するとともに、実際の AWS クラウドのご利用料金を試算していただくことができる「簡易見積ツール」のご利用方法、また代表的なクラウド推奨構成についてご紹介いたします。



AWS の課金体系について

「AWS の課金体系」では、主要サービスの価格や課金体系をはじめ、ご利用タイプ別の内訳例と、基本的な料金体系をわかりやすくご紹介しております。

「AWS の課金体系」に関する資料ダウンロードはこちら >

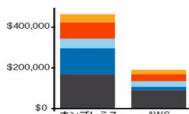
ご請求に関する FAQ を読む

簡易見積ツールのご利用方法について

「AWS Simple Monthly Calculator(簡易見積ツール)使用方法ご説明資料」では、AWS にご興味をお持ちのお客様によくご利用いただいているサービスにフォーカスして、ご利用予定の製品の使用量に応じた料金見積りをわかりやすくご紹介しております。

「AWS Simple Monthly Calculator(簡易見積ツール)使用方法ご説明資料」ダウンロードはこちら >

[AWS Simple Monthly Calculator\(簡易見積ツール\)を起動する >>](#)



クラウド推奨構成とお見積り例

企業におけるシステム構築・運用で重要視される、安定性、セキュリティ、拡張性といった点に焦点を当てた代表的な構成例をご紹介しております。ウェブサービス、ファイルサーバー、動画配信、SAP 環境構築といった用途から、非常に低コストでウェブサーバーを開始する方法や災害対策を考慮した構成例まで、幅広い利用用途での推奨構成例をご覧ください。

クラウド推奨構成とお見積り例はこちら >

AWS ホームページの「AWS 課金体系と見積り方法について」に記載されている「[AWS Simple Monthly Calculator \(簡易見積ツール\)を起動する >>](#)」というリンクより、見積ツールへ移動してください。

基本設定

1. TOPに移動したら、最初に必ず見積対象のリージョンを選択してください。

2. 初年度の無料枠は必要に応じて除外(チェックボックスをOFF)して下さい。


The screenshot shows the AWS Free Tier configuration interface. A red dashed box highlights the 'リージョンの選択' (Region selection) dropdown menu, which is currently set to '米国東部 / 米国スタンダード-バージニア'. A red arrow points from the first instruction to this dropdown. Another red arrow points from the second instruction to a checkbox in the top right corner of the configuration area, which is currently checked. The page title is 'サービス 毎月の請求額の積り (\$ 0.00)'. The main content area is titled 'コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:' and contains a table with columns for '説明', 'インスタンス', '使用量', and 'タイプ'. Below this is the 'Amazon EBS ボリューム:' section with a table for '説明', 'ボリューム', 'ボリュームタイプ', 'ストレージ', 'IOPS', and 'スナップショットストレージ*'. The 'Elastic IP:' section includes input fields for '追加 Elastic IP の数', 'Elastic IP をアタッチしていない時間', and 'Elastic IP リマップの回数'. The 'データ転送:' section includes input fields for 'リージョン間データ送信' and 'リージョン内データ送信'. On the right side, there is a sidebar titled 'よくあるお客様事例' (Common customer examples) with a list of services and their associated free tier options, including 'AWS を用いた無料ウェブサイト', 'AWS Elastic Beanstalk のデフォルト', 'マーケティング用ウェブサイト', '大規模ウェブアプリケーション (すべてオンデマンド)', 'メディアアプリケーション', 'HPC クラスタ', '災害対策とバックアップ', and 'ウェブアプリケーション (欧州)'. A red dashed box highlights the 'よくあるお客様事例' header.

Amazon Elastic Compute Cloud(EC2)

仮想インスタンス(サーバ)サービスをご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。
左ナビゲーションの「Amazon Elastic Compute Cloud」を選択して、お見積りを行うことができます。


リージョンの選択: アジアパシフィック-日本

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) に設計されています。Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) に設計されています。


1.  をクリックし、行を追加してください。

転送は毎月リージョンあたり 1GB が無料です。

Amazon EC2 インスタンス:

説明	インスタンス	使用量	タイプ	料金計算オプション	1 か月あたりコスト
 新しい行を追加					

Amazon EBS ボリューム:

説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
 新しい行を追加					

Elastic IP:

追加 Elastic IP の数:

Elastic IP をアタッチしていない時間: 時間/月

Elastic IP リマップの回数: 回/月

データ転送:

リージョン間データ送信: GB/月

Amazon Elastic Compute Cloud(EC2) インスタンス台数と使用量

コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:

説明	インスタンス	使用量	タイプ
		1 100 使用率/月	Linux, t1.micro
	新しい行を追加		

サービス 見残り (\$ 0.01)

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、クラウド上で伸縮自在なように設計されています。Amazon Elastic Block Store (EBS) は Amazon EC2 イ

コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:

説明	インスタンス	使用量	タイプ
		1 100 使用率/月	Linux, t1.micro
	新しい行を追加		

Amazon EBS ポリリウム:

説明	ポリリウム	ポリリウムタイプ	ストレージ	IOPS
	新しい行を追加			

Elastic IP:

2. ドロップダウンリストから単位を選択し、数字を入力します。
※使用量の目安(参考値)

使用率例	使用時間例	ユースケースの例
100%	24時間365日	本番環境サーバ (最低限の必要台数)
70%	120時間/週 (週5日 24時間)	休日のみ電源OFF それ以外は常時電源ON
50%	12時間/日	土日含め日中のみ電源ON
35%	60時間/週 (週5日 12時間)	平日の日中のみ電源ON
20%	5時間/日	毎日夜間のみ電源ON (バッチ処理など)

3. 同じインスタンスタイプであっても使用量が異なる場合は、それぞれ別に行を作成し、入力して下さい。

Amazon Elastic Compute Cloud(EC2) インスタンスタイプ

コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:

説明	インスタンス	使用量	タイプ	料金		
		1	100 使用率/月	Linux, t1.micro	オンデマンド (契約不)	\$ 19.77
	新しい行を追加					

4. 『タイプ』をクリックすると、インスタンスタイプおよびOSを選択するポップアップが表示されます。

インスタンスタイプを選択

OS

Linux Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server EBS-Optimized

Windows Windows および Web SQL Server Windows および Standard SQL Server

選択	名前	vCPU	メモリ	インスタンスタイプ	ストレージ	ネットワーク	オンデマンド	オンデマンド	オンデマンド
				(GB)			最適化	時間あたりコスト	1時間あたりコスト (節約%) *
<input type="radio"/>	t1.micro	1	0.6	--	非常に低い	--	--	\$0.026	\$0.012 (54%)
<input type="radio"/>	t2.micro	1	1.0	--	低い	--	--	\$0.020	\$0.009 (55%)
<input checked="" type="radio"/>	t2.small	1	2.0	--	低い	--	--	\$0.040	\$0.019 (53%)
<input type="radio"/>	t2.medium	2	4.0	--	低い	--	--	\$0.080	\$0.038 (53%)
<input type="radio"/>	m3.medium	1	3.7	SSD 1 x 4	中	--	--	\$0.101	\$0.037 (63%)
<input type="radio"/>	m3.large	2	7.5	SSD 1 x 32	中	--	--	\$0.203	\$0.074 (64%)
<input type="radio"/>	m3.xlarge	4	15.0	SSD 2 x 40	高い	Yes	Yes	\$0.405	\$0.147 (64%)
<input type="radio"/>	m3.2xlarge	8	30.0	SSD 2 x 80	高い	Yes	Yes	\$0.810	\$0.294 (64%)
<input type="radio"/>	c4.large	2	3.7	--	中	--	--	\$0.147	\$0.067 (54%)
<input type="radio"/>	c4.xlarge	4	7.5	--	中	Yes	Yes	\$0.294	\$0.135 (54%)
<input type="radio"/>	c4.2xlarge	8	15.0	--	高い	Yes	Yes	\$0.588	\$0.269 (54%)
<input type="radio"/>	c4.4xlarge	16	30.0	--	高い	Yes	Yes	\$1.176	\$0.538 (54%)
<input type="radio"/>	c4.8xlarge	36	60.0	--	非常に高い	Yes	Yes	\$2.352	\$1.076 (54%)

詳細オプション

非表示 詳細モニタリング ハードウェア専用インスタンス

* assumes 100% usage and Reserved Instance paid all upfront (more billing options available)

5. OSとインスタンスタイプを選択します。DBサーバ等、EC2とEBSディスクの間を安定的かつ高速なDisk I/Oスループットでご利用されたい場合には、[EBS-Optimized]をチェックします。(※特定のインスタンスタイプのみ対応)

6. Amazon Cloudwatchでインスタンスの詳細モニタリング(5分→1分間隔)や、ハードウェアの専有オプションを利用する場合は、詳細オプションを表示し、必要なものを選択して下さい。

7. 入力が完了したら『閉じて保存』を選択し、変更を反映します。

※各 vCPU は、M3、C4、C3、R3、HS1、G2、I2 の Intel Xeon コアのハイパースレッドです。

Amazon Elastic Compute Cloud(EC2) 料金計算オプション

8. 『料金計算オプション』を選択すると、リザーブドインスタンスを選択するポップアップが表示されます。

コンピューティング: Amazon EC2 インスタンス:

説明	インスタンス	使用量	タイプ	料金計算オプション	1 か月あたりコスト
		1 100 使用率/月	Linux, t2.small	オンデマンド (契約不要)	\$ 29.28
	新しい行を追加				

9. 使用量を元に、各オプションを利用した場合の実質的な1ヶ月あたりのコストが表示されます。
10. お客様の希望される支払方法、期間のプランとオンデマンド料金のコストを比較頂き、安価な方法を選択します。
11. お支払方法(分割、一部前払い、全額前払い)によって、割引率に差があります。各インスタンスタイプ、OS、支払方法別の割引率詳細については「[EC2 リザーブドインスタンス購入オプション](#)」をご覧ください。

料金計算オプションを選択

インスタンスタイプ: t2.small
オペレーティングシステム: Linux
使用量: 100 使用率/月

インスタンスあたりの料金と予想コスト (すべて USD)

選択	名前	事前支払い 料金	実質的な 1 時間あたりコスト	実質的な 1 か月あたりコスト	1 年間の コスト	3 年間の コスト
<input checked="" type="radio"/>	オンデマンド (契約不要)	---	0.040	29.28	351.36	1054.08
<input type="radio"/>	1 Yr No Upfront Reserved	0.00	0.030	21.90	262.80	788.40
<input type="radio"/>	1 Yr Partial Upfront Reserved	170.00	0.029	21.47	257.60	772.80
<input type="radio"/>	1 Yr All Upfront Reserved	252.00	0.029	21.00	252.00	756.00
<input type="radio"/>	3 Yr Partial Upfront Reserved	316.00	0.020	14.62	---	526.24
<input type="radio"/>	3 Yr All Upfront Reserved	494.00	0.019	13.73	---	494.00


閉じる



Amazon Elastic Block Store(EBS)

Amazon Elastic Compute Cloud 用のブロックストレージ (HDD/SSD)をご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。
左ナビゲーションの「Amazon Elastic Compute Cloud」を選択して、お見積りを行うことができます。



Amazon EBS ボリューム

1. 同じく  をクリックし、行を追加してください。

説明	ボリュームタイプ	サイズ (GB)	パフォーマンス	可用性	バックアップ	ストレージの GB-月	
		1	General Purpose (Magnetic)	0 GB	0	0	ストレージの GB-月
	新しい行を追加						

Elastic IP:

追加 Elastic IP の数:

Elastic IP をアタッチしていない時間: 時間/月

Elastic IP リマップの回数: 回/月

データ転送:

リージョン間データ送信: GB/月

データ送信: GB/月

データ受信: GB/月

VPC ピア接続のデータ転送: GB/月

リージョン内データ転送: GB/月

パブリック IP/Elastic IP のデータ転送: GB/月






Elastic Load Balancing:

Elastic LB の数:

全 ELB によって処理されたデータ総量: GB/月

Amazon Elastic Block Store(EBS) ボリューム数

Amazon EBS ボリューム:

説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
	<input type="text"/>	1 General Purpose (Magnetic) ▼	100 GB	30	0 ストレージの GB-月 ▼
	新しい行を追加				
説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
	<input type="text"/>	1 汎用(SSD) ▼	100 GB	300	0 ストレージの GB-月 ▼
	新しい行を追加				
説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
	<input type="text"/>	1 プロビジョンドIOPS ▼	100 GB	1000	0 ストレージの GB-月 ▼



2. EBSボリュームは1台あたりMagneticが最大1TB(1,024GB)、汎用SSD/プロビジョンドIOPSが最大で16TB(16,834GB)です。1台あたりの最大容量以上をご利用されたい場合はストライピング構成を組んで頂く事になりますので、複数台数を入力して下さい。

(※EBS Volumeは物理的には冗長化されています)

複数台数でストライピング構成とする場合、ストレージ容量、IOPSの数値の合計値は入力した数値×ボリュームの数となりますのでご注意ください。

(※ボリューム 2, ストレージ100GBの場合、合計200GBとして計算されます)

Amazon Elastic Block Store(EBS) ボリュームタイプとストレージ容量



説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショット
		1	General Purpose (Magnetic) ▼	0 GB	0
	新しい行を追加				

ボリュームタイプメニュー:

- General Purpose (Magnetic)
- 汎用(SSD)
- プロビジョンドIOPS

3. ボリュームタイプとして、以下の3種類より選択します。
 - ・標準的な仮想HDDタイプ (低速)
 - ・汎用的なSSDタイプ (高速、バースト性能)
 - ・プロビジョンドIOPS (高速、I/O性能保証)
4. 基幹システムのDBサーバ用ディスクなど、定常的に高い(1,000IOPS 以上の)性能が要求される場合は汎用SSDもしくはプロビジョンドIOPSボリュームをご選択下さい。
5. 汎用SSDとプロビジョンドIOPSの違いについては、[こちら](#)をご覧ください。

Amazon EBS ボリューム:

説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショット ストレージ*
		1	General Purpose (Magnetic) ▼	100 GB	0
	新しい行を追加				

6. EC2に必要なストレージ容量を記載します。容量はあとから自由に追加できますので、見積段階では直近に必要な容量+20%程度の余裕を考慮すれば十分です。EBSボリュームは1台あたりMagneticが最大1TB(1,024GB)、汎用SSD/プロビジョンドIOPSが最大で16TB(16,834GB)です。

Amazon Elastic Block Store(EBS) IOPS (Input/Output Per Sec)

ムタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
Purpose (Magnetic) ▼	100 GB	30	0 ストレージの GB-月
ムタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
D) ▼	100 GB	300	0 ストレージの GB-月 ▼
ムタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショットストレージ*
プロビジョンドIOPS ▼	100 GB	1000	0 ストレージの GB-月 ▼

※1 一般的な平均IOPSの目安

Web/APサーバ	5~10IOPS
DBサーバ	30~50IOPS

※一般的なHDD 1本あたりのIOPS数値(目安)

回転数	IOPS
7,200rpm	75-100
10,000rpm	125-150
15,000rpm	175-210

7. DiskのIO数値を入力します。
各ボリュームタイプによって入力の仕方が異なります。

<General Purpose(Magnetic)ボリューム>

・ TotalのIO数で課金するため、平均IOPSを入力します。(※1)

・ General Purpose(Magnetic)ボリュームは、1本あたり平均100IOPS程度の性能で、最大で数百IOPS までバーストします。

<汎用 (SSD)ボリューム>

・ 自動的に容量 (GB)*3の ベースラインパフォーマンスの値が入ります。IOPSによる課金は発生しませんので、ベースラインパフォーマンスとして最低限必要なIOPSになっていない場合、前項のストレージ容量のに戻り、必要なIOPS数を3で除算した数値を容量として入力して下さい。

・ 汎用 (SSD) ボリュームは、ベースラインパフォーマンスが300IOPSを下回っている場合、3,000 IOPSまで一時的にバーストする性質を持っています。(最大は10,000IOPS)

<プロビジョンドIOPSボリューム>

・ 指定したい最大値のIOPSを入力(※2)
(※1ボリューム最大20,000IOPSまで設定可能)

8. プロビジョンドIOPSでは、IOPSとストレージ容量の比率を30:1(例 1,000IOPS:34GB)以上に設定する必要があります。

Amazon Elastic Block Store(EBS) スナップショットストレージ

Amazon EBS ボリューム:

説明	ボリューム	ボリュームタイプ	ストレージ	IOPS	スナップショット ストレージ*
	1	General Purpose (Magnetic)	100 GB	30	0 ストレージの GB-月
	新しい行を追加				

※各変化量を選択した際の容量計算イメージ

変化率	容量計算方法	備考
毎時	EBSストレージ容量(GB) +ストレージ容量*変化率 (%)*時間数(730時間)	傾斜課金 (次ページ参 照)
日次	EBSストレージ容量(GB) +ストレージ容量*変化率 (%)*日数(30日)	傾斜課金 (次ページ参 照)
週次	EBSストレージ容量(GB) +ストレージ容量*変化率 (%)*週数(4週+数日分)	傾斜課金 (次ページ参 照)
月次	EBSストレージ容量(GB) +ストレージ容量*変化率 (%)	容量+差分を 1ヶ月保存 (傾斜なし)

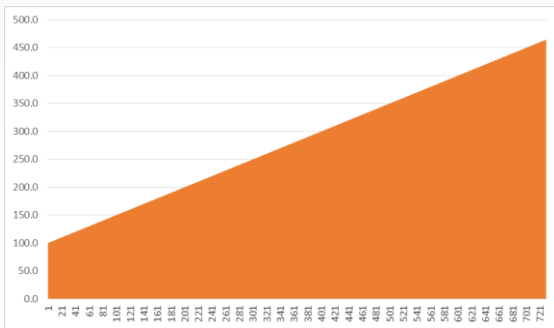
- EBS Diskのバックアップ容量を算出します。
スナップショットはEBS Disk容量に関係なく、内部に保存されているデータ量を元に課金されるため、ここでは実際のディスク利用量を入力します。
- スナップショットを取得すると、自動的に前回スナップショット作成時からブロックレベルの変更差分だけを保存します。データ更新の頻度、保存期間（世代など）に応じて、容量を指定するか、データの変化率(%)を指定するかをご選択下さい。※
- スナップショットの費用はある一時点における費用です。継続的にスナップショットを取得し続けていく場合、過去データを削除しないとスナップショットの費用は増え続けますので、見積作成時の条件設定にはご注意ください。

【参考】 Snapshotの課金計算イメージ(傾斜課金について)

- Snapshotの課金は1時間単位で行っており、各時間ごとの容量に対し、Snapshotの時間課金単価（ $\$0.095/\text{GB} \div 730\text{時間}$ ）を乗算して単位時間当たりの金額を算出、積算しています。
- 各時間単位当たりで計算対象となる容量の推移イメージは過去のSnapshotを一切削除しない場合、以下のようになります。
(例：容量100GBで、時間あたりブロック差分が0.5%ずつ増えていく場合) ※縦軸：GB 横軸：経過時間
- 保存世代数を決める(7世代等)場合は、変化率ではなくEBS容量+差分*世代数を、容量指定で記載してください。**

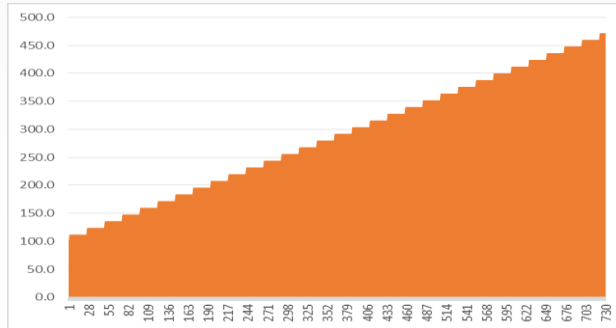
毎時変化率の場合

(1時間毎にSnapshotが0.5GB増加する)



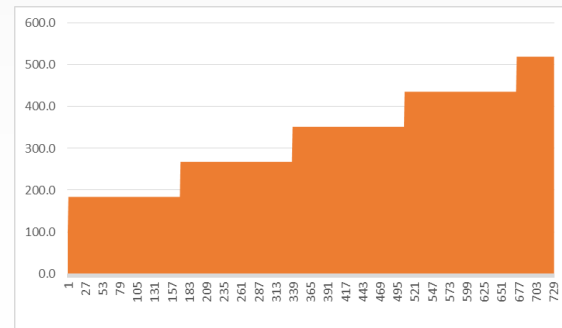
日次変化率の場合

(24時間毎にSnapshotが12GB増える)



週次変化率の場合

(1週間(168時間)毎にSnapshotが84GB増える)



その他 EC2/EBS関連

Elastic IP:

追加 Elastic IP の数:

Elastic IP をアタッチしていない時間: 時間/月

Elastic IP リマップの回数: 回/月

データ転送:

リージョン間データ送信: GB/月

データ送信: GB/月

データ受信: GB/月

リージョン内データ転送: GB/月

パブリック IP/Elastic IP のデータ転送: GB/月

Elastic Load Balancing:

Elastic LB の数:

全 ELB によって処理されたデータ総量: GB/月

1. EC2インスタンス 1台につき、Elastic IP (EIP) =Global固定IP 1個はアタッチしている場合に限り無料です。1台のインスタンスに2つ以上のIPをアタッチする場合にのみ、数字を入力してください。

2. データ転送の項目はそれぞれ以下の用途を想定しています。それぞれ、GB/日 or 週 or 月、もしくはTB/月で指定して下さい。

項目名	課金対象となる通信内容
リージョン間データ送信	AWSの別リージョンやAmazon CloudFrontへのデータ送信
データ送信	インターネットを経由した(AWSからの)データ送信
データ受信	インターネットを経由した(AWSに対しての)データ受信(※無料のため入力不要)
リージョン内データ転送	アベイラビリティゾーン間(例えばDBのデータ同期など)のデータ送信
パブリック IP/Elastic IP のデータ転送	同一リージョン内でのグローバルIPアドレス同士のデータ送信

3. ロードバランサーとしてAmazon Elastic Load Balancing(ELB)を利用する際のELB台数と、ELBを経由してやり取りされるデータ送受信量を入力して下さい。(送信だけでなく、受信も含めた全てのデータ流量を入力して下さい)
ELBは自動的に冗長化されますので考慮不要です。

Amazon Simple Storage Service(S3)

インターネット用のオブジェクトストレージサービスをご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。左ナビゲーションの「Amazon Simple Storage Service」を選択して、お見積りを行うことができます。

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本 インバウンドのデータ転送は!

Amazon S3 はインターネット用のストレージサービスです。ソフトウェア開発者がより簡単にウェブスケールで

ストレージ:	
ストレージ:	<input type="text" value="0"/> GB
低冗長化ストレージ:	<input type="text" value="0"/> GB
リクエスト:	
PUT/COPY/POST/LIST リクエスト:	<input type="text" value="0"/> リクエスト
GET とその他のリクエスト:	<input type="text" value="0"/> リクエスト
データ転送:	
リージョン間データ送信:	<input type="text" value="0"/> GB/月
データ送信:	<input type="text" value="0"/> GB/月
データ受信:	<input type="text" value="0"/> GB/月

1. オブジェクトストレージとして(スナップショット以外で)Amazon Simple Storage Serviceを利用する場合の、特定時点における保存容量(GB or TB)を入力して下さい。
2. ストレージと低冗長化ストレージの違いは以下の通りです。
標準 : DC3箇所以上への複製保存
低冗長化 : DC2箇所への複製保存

Amazon Simple Storage Service(S3)

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本 インバウンドのデータ転送は

Amazon S3 はインターネット用のストレージサービスです。ソフトウェア開発者がより簡単にウェブスケールで

ストレージ:

ストレージ:	<input type="text" value="0"/>	GB
低冗長化ストレージ:	<input type="text" value="0"/>	GB

リクエスト:

PUT/COPY/POST/LIST リクエスト:	<input type="text" value="0"/>	リクエスト
GET とその他のリクエスト:	<input type="text" value="0"/>	リクエスト

データ転送:

リージョン間データ送信:	<input type="text" value="0"/>	GB/月
データ送信:	<input type="text" value="0"/>	GB/月
データ受信:	<input type="text" value="0"/>	GB/月

3. S3ではリクエストの総数に対して課金が発生しますので、オブジェクトに対する月間の各リクエストの総数を入力して下さい。

4. EC2とは別にS3から直接データを送信される場合にのみ、入力して下さい。

Amazon Relational Database Service(RDS)

AWS クラウド上でリレーショナルデータベースサービスをご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。
左ナビゲーションの「Amazon Relational Database Service」を選択して、お見積りを行うことができます。

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本 インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月リージョンあたり 1GB

Amazon RDS は、クラウド上でリレーショナルデータベースを簡単にセットアップ、運用、スケーリングするためのウェブサービスです。

Amazon RDS オンデマンド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライセンス	クラスとデプロイ	ストレージ	IOPS
+ 新しい行を追加						

追加のバックアップストレージ (プロビジョニングされたストレージ量の 100% までバックアップ)

+ 新しい行を追加

Amazon RDS リザーブド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライ
+ 新しい行を追加			

データ転送:

データ送信:	0	GB/月
データ受信:	0	GB/月
リージョン内データ転送:	0	GB/月

1. RDSについてはオンデマンドインスタンスとリザーブドインスタンスの入力場所が異なります。EC2インスタンスでのリザーブドインスタンスの割引率の情報を元に、オンデマンド/リザーブドのどちらを利用するのかご選択下さい。

※RDSはマネージドサービスのため、**EC2インスタンスの様なSTOP/STARTの機能は有りません**。本番環境など、インスタンスタイプを固定でご利用される場合は、基本的にリザーブドインスタンスの利用を推奨致します。

Amazon Relational Database Service(RDS) DBエンジンおよびライセンス

Amazon RDS オンデマンド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライセンス	クラスとデプロイ	ストレージ	IOPS	
		1	100 使用率/月	MySQL	db.m1.small	General Pur	0
+ 新しい行を追加							
追加のバックアップストレージ (プロビジョニングされたストレージ)							
バックアップストレージ							
+ 新しい行を追加							

- MySQL
- PostgreSQL
- Oracle (BYOL: EE, SE, SE1)
- Oracle (SE1 ライセンス込み)
- SQL Server (BYOL: EE, SE)
- SQL Server (Web ライセンス込み)
- SQL Server (Standard ライセンス込み)
- SQL Server (Express ライセンス込み)

DB エンジンおよびライセンスタイプ。RDS は、MySQL Server に対応しています

またマルチ AZ 配備、もしくは

2. RDSのDBエンジンとライセンス形態を選択して下さい。BYOL(お客様のライセンス持込み)か、時間課金のライセンスを使用されるかを選択します。時間課金のライセンスについては、現状では特定のエディションのみ提供しております。
Oracle : SE1 のみ
MSSQL : Express/ Web/ Standard Edition

Amazon RDS リザーブド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライセンス	クラスとデプロイ
+ 新しい行を追加				

データ転送:

リージョン間データ送信	<input type="text" value="0"/>	GB/月
データ送信:	<input type="text" value="0"/>	GB/月
データ受信:	<input type="text" value="0"/>	GB/月
リージョン内データ転送:	<input type="text" value="0"/>	GB/月

Amazon Relational Database Service(RDS) クラスとデプロイ

Amazon RDS オンデマンド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライセンス	クラスとデプロイ	ストレージ	IOPS
	1	100 使用率/月	MySQL	db.m1.small	General Pur	0

新しい行を追加

追加のバックアップストレージ

バックアップストレージ

新しい行を追加

Amazon RDS リザーブド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライセンス	提供内容と条件	ストレージ

3. クラス(インスタンスタイプ)を選択します。各クラスのスペック(CPU/メモリ)はEC2のものと同じです。

db.m1.small
db.t1.micro
db.t2.micro
db.t2.small
db.t2.medium
db.m3.medium
db.m3.large
db.m3.xlarge
db.m3.2xlarge
db.r3.large
db.r3.xlarge
db.r3.2xlarge
db.r3.4xlarge
db.r3.8xlarge
db.m1.small
db.m1.medium
db.m1.large
db.m1.xlarge
db.m2.xlarge
db.m2.2xlarge
db.m2.4xlarge

Amazon Relational Database Service(RDS) クラスとデプロイ

ジョンの選択: アジアパシフィック-日本

Amazon RDS は、

Amazon RDS オンデマンド

説明

新しい行を追加

追加のバックアップストレージ

バックアップストレージ

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月課金されます。スケーリングするためのウェブサービスです。



4. デプロイの種別を選択します。
Single-AZ(シングルノード)で立ち上げる、Multi-AZ(DC跨ぎの冗長化構成)で立ち上げるかを選択します。

5. MySQL、PostgreSQLで読み専用のリードレプリカを作成される場合は PrimaryのDBとは別の行で必要なリードレプリカの台数分入力して下さい。



6. Multi-AZの場合、本項でMulti-AZを選択頂ければ2台(Master-Slave)の金額が積算されますので、DBインスタンスは1のままで結構です。

ライセンス	クラスとデプロイ	ストレージ	IOPS
	スモール (db.m1.small)	スタンダード	0
	スタンダード(Single-AZ)	20 GB	
	スタンダード(Single-AZ)またはリードレプリカ		
	Multi-AZ		

Amazon Relational Database Service(RDS) ストレージとIOPS

説明	DB インスタンス	使用量
	1	100 使用率
 新しい行を追加		

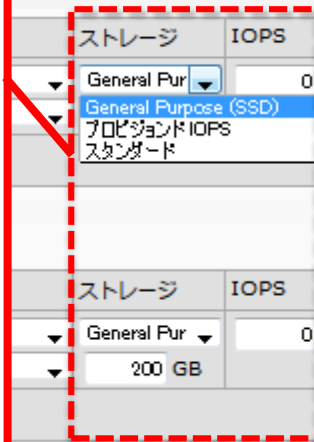
Amazon RDS オンデマンド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量
	1	100 使用率
 新しい行を追加		

7. ストレージ、IOPSの考え方は基本的にはEBSと同じです。ストレージのタイプ、容量を選択し、IOPSの数値を入力して下さい。

※General Purpose (SSD) の場合も入力できるようになっていますが、EBSと同様ベースパフォーマンスの数値が決まっているため、**General Purpose (SSD) を選択した場合は0として下さい。**

8. RDSのGeneral Purpose SSDディスクは最大3TBですが、IOの最大値は現状3,000 IOPSとなっております。RDSで3,000IOPS以上のIO性能が必要な場合は、プロビジョンドIOPSをご選択ください。



ストレージ	IOPS
General Pur	0
General Purpose (SSD)	
プロビジョンドIOPS	
スタンダード	

ストレージ	IOPS
General Pur	0
200 GB	

※RDSでは、利用するDBエンジンによって現状最大のIOPSに違いがあります。
(MySQL, PostgreSQL, Oracle : 1,000~30,000 MS SQL : 1,000~10,000)
詳細は[こちら](#)をご参照ください。

Amazon Relational Database Service(RDS) 追加バックアップストレージ、データ転送

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月リージョンあたり 1GB

Amazon RDS は、クラウド上でリレーショナルデータベースを簡単にセットアップ、運用、スケーリングするためのウェブサービスです。

Amazon RDS オンデマンド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量	DB エンジンおよびライセンス	クラスとデプロイ	ストレージ	IOPS
	1	100 使用率/月	MySQL	スモール (db.m1.small) スタンダード(Single-AZ)	スタンダード 20 GB	0

新しい行を追加

追加のバックアップストレージ (プロビジョニングされたストレージ量の 100% までバックアップストレージが無料) :

バックアップストレージ
0 ストレージの GB-月

新しい行を追加

Amazon RDS リザーブド DB インスタンス:

説明	DB インスタンス	使用量
	0	0

新しい行を追加

9. RDSでは確保したストレージと同じ容量のバックアップディスクが、予めサービス利用料に含まれています。ここでは、RDSのストレージ容量以上のデータ(変更差分)を保存したい場合に入力して下さい。(例：月間変化率10%のデータを1年以上保管したい場合等)

データ転送:

データ送信:	0 GB/月
データ受信:	0 GB/月
リージョン内データ転送:	0 GB/月

10. EC2とは別にRDSから直接データが送受信されたり、アベイラビリティゾーン越しにデータが通信される場合に入力して下さい。(データ受信は無料のため入力不要)



Amazon Virtual Private Cloud(VPC)

VPN接続によりお客様の既存データセンター環境とAWSとの接続が可能になる「Amazon Virtual Private Cloud」をご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。左ナビゲーションの「Amazon Virtual Private Cloud」を選択して、お見積りを行うことができます。

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本 インバウンドのデータ転送は無料です。

Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) は、企業の既存の IT インフラと AWS クラウドを安全かつシーム

VPN 接続


説明	接続の数	使用量	データ転送送信	データ転送受信
 <input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/> 使用率/月	<input type="text" value="0"/> GB/月	<input type="text" value="0"/> GB/月
 新しい行を追加				

1. AWSとVPN接続を行う接続対地数を入力します。
2. VPNの使用量を入力します。試験的な利用でない限り常時接続となるため、100%とするのが一般的です。

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本 インバウンドのデータ転送は無料です。

Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) は、企業の既存の IT インフラと AWS クラウドを安全かつシーム

VPN 接続

説明	接続の数	使用量	データ転送送信	データ転送受信
 <input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/> 使用率/月	<input type="text" value="0"/> GB/月	<input type="text" value="0"/> GB/月
 新しい行を追加				

3. Internet-VPN経由のデータ通信量を入力します。(データ受信は無料のため入力不要)

Amazon CloudFront

コンテンツを簡単、高速に配信することのできる「Amazon CloudFront」をご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。左ナビゲーションの「Amazon CloudFront」を選択して、お見積りを行うことができます。

サービス 毎月の請求額の見積り (\$ 575.75)

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本 インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月リージョンあたり 1GB が無料です。

Amazon CloudFront はコンテンツ配信用のウェブサービスです。エッジロケーションのグローバルネットワークを使用してコンテンツを配信し、オリジナルファイルの最終バージョンを永続的に保管する Amazon S3 とシームレスに動作します。

データ送信:
毎月のポリューム: 1 TB/月
リクエスト:
平均オブジェクトサイズ: 20
リクエストのタイプ: HTTP HTTPS
無効化リクエスト: 0 リクエスト

エッジロケーションのトラフィックディストリビューション:
米国 0 %
欧州 0 %
日本、韓国、およびシンガポール 0 %

Number of Certificates: 0

- CloudFrontからのデータ送出量を入力します。日、週、月、あたりでの入力が可能です。一ヶ月あたりの総量を自動的に算出するため、キャンペーンやランディングページなど一時的な利用の場合は月の総量を記載して下さい。
- 1ファイルあたりの平均オブジェクト数を入力します。月間のデータ流量をこの平均オブジェクトで除算し、リクエスト数を算出します。
- HTTPS通信が必要かどうか選択します。HTTPおよびHTTPS混在の場合、費用が変わる可能性があります。詳細については[お問合せ下さい](#)。
- キャッシュを強制的に書き換える事がある場合、月間あたり書き換えが発生する回数を入力します。

※月間の容量が一定(10TB)以上の場合、リザーブドキャパシティというオプションを利用する事で価格が大幅に割引となる場合がございます。詳細は[こちら](#)よりお問合せください。

Amazon CloudFront(CloudFront) エッジロケーションと独自SSL証明書

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は毎月リージョンあたり 1GB が無料です。

Amazon CloudFront はコンテンツ配信用のウェブサービスです。エッジロケーションのグローバルネットワークを使用してコンテンツを配信し、オリジナルファイルの最終バージョンを永続的に保管する Amazon S3 とシームレスに動作します。

データ送信:
毎月のボリューム: 1 TB/月

リクエスト:
平均オブジェクトサイズ: 20

リクエストのタイプ: HTTP HTTPS

無効化リクエスト: 0 リクエスト

エッジロケーションのトラフィックディストリビューション:

米国	0 %
欧州	0 %
香港、韓国、およびシンガポール	0 %
日本	100 %
南米	0 %
オーストラリア	0 %

Custom SSL Certificates:
Number of Certificates: 0

* 毎月のデータ転送量と平均オブジェクトサイズから、リクエスト料金が自動的に計算されます

5. 配信予定のエッジロケーションと、データ量の割合を入力します。配信地域を限定することで価格が大幅に安価になる場合があります。詳細は[こちら](#)の「価格クラス」をご覧ください。

6. CloudFrontのSSL配信で、お客様の独自の証明書を利用したい場合は、こちらに利用したい証明書の数を入力して下さい。Wildcard証明書を利用され複数のサイトを同一の証明書で運用されている場合は1として下さい。

AWS Support

ご利用時のサポートサービスを提供する「AWS Support」をご利用の際のお見積りはこちらの画面で行います。左ナビゲーションの「Amazon Support」を選択して、お見積りを行うことができます。

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ転送は有料です。

AWS サポートは、1対1で迅速なサポートを提供することにより、お客様がAWS インフラストラクチャサービス上でアプリケーションを構築...

サポートプランの選択:

- ベーシック (無料)
- ビジネス
- 開発者 (49.00 USD/月)
- エンタープライズ

1. AWSのテクニカルサポートのプランを選択します。24時間365日の対応や、電話でのサポートが必要な場合はビジネスもしくはエンタープライズを選択して下さい。
2. 各サポートプランの内容については[こちら](#)をご確認ください。

費用の確認方法

すべてリセット

サービス **毎月の請求額の見積り (\$ 300.12)**

リージョンの選択: アジアパシフィック-日本

インバウンドのデータ転送は無料です。アウトバウンドのデータ

AWS サポートは、1 対 1 で迅速なサポートを提供することにより、お客様が AW

サポートプランの選択:

ベーシック (無料) ビジネス

開発者(49.00 USD/月) エンタープライズ

Amazon EC2

Amazon S3

Amazon RDS

Amazon DynamoDB

Amazon SimpleDB

Amazon SQS

Amazon SES

Amazon SNS

Amazon SWF

Amazon Route 53

Amazon Glacier

Amazon CloudFront

Amazon ElastiCache

Amazon CloudWatch

Amazon VPC

1. 必要な項目の入力が完了したら、“毎月の請求額の見積り”というタブに切り替えます。

費用の確認方法

サービス 毎月の請求額の見積り (\$ 300.12)

毎月の請求額の見積り

開始月の請求書を表示 (ある場合、1 回限りの支払いをすべて含む)

AWS では、実際に使った分だけをお支払いいただけます。下記の月あたりの請求額の見積りをご覧ください。各アイテムを展開すると、サービスごとの見積りを確認できます。この見積りを保存して値を入力するには、[保存して共有] ボタンを押してください。見積りからサービスを除外するには、サービスに戻り特定のサービスのフォームをクリアしてください。

保存して共有

Amazon EC2 Service (日本)

コンピューティング:
EBS ボリューム:
EBS IOPS:
EBS スナップショット:
リザーブドインスタンス (1 回限りの料金):

Amazon S3 Ser (日本)

Amazon EC2 Service (日本)

Amazon S3 Ser (日本)

AWS データピケット (日本)

AWS サポート (日本)

1 回限りの料金合計:
月額料金合計:

2. 各サービス単位の費用について確認することができます。

4. リザーブドインスタンスを見積りに入れる場合、月額費用を確認するにはこちらのチェックを外して下さい。またその際、サポートメニューが変わっている可能性がありますのでご確認ください。

3. をクリックすると、各サービスのそれぞれの項目ごとに費用内訳をご覧ください。

\$	18.30	
\$	12.00	
\$	9.49	
\$	5.00	
\$	194.00	
\$		10.05
\$		242.58
\$		36.60
\$		60.10
\$		100.00
\$		388.00
\$		300.12

見積結果の共有

サービス 毎月の請求額の見積り (\$ 300.12)

毎月の請求額の見積り

開始月の請求書を表示 (ある場合、1 回限りの支払いをすべて含む)

AWS では、実際に使った分だけをお支払いいただけます。下記の月あたりの請求額の見積りをご覧ください。各アイテムを展開すると、サービスごとの見積りを確認できます。この見積りを保存して値を入力するには、[保存して共有] ボタンを押してください。見積りからサービスを除外するには、サービスに戻り特定のサービスのフォームをクリアしてください。

Amazon EC2 Service (日本)	238.79
コンピューティング:	
EBS ボリューム:	
EBS IOPS:	
EBS スナップショット:	
リザーブドインスタンス (1 回限りの料金):	
Amazon S3 Service (日本)	10.06
Amazon RDS Service (日本)	242.58
Amazon VPC Service (日本)	36.60
AWS データ送信	60.10
AWS サポート (ビジネス)	100.00
1 回限りの料金合計:	\$ 388.00
月額料金合計:	\$ 300.12

5. 見積結果のページを保存、もしくは誰かと共有したい場合“保存して共有”を選択して下さい。

見積結果の共有

EC2 Service (日本)

-ティング:

ユーモ:

S:

アップショット:

インスタンス (1 回限りの料金):

S3 Service (日本)

RDS Service (日本)

VPC Service (日本)

-タ送信

ート (ビジネス)

毎月の請求額の見積り (\$ 300.12)

毎月の請求額の見積り

開始月の請求書を表示 (ある場合、1 回限りの支払いをすべて)

実際に使った分だけをお支払いいただけます。下記の月あたりの請求額の見積りをご覧ください。各アイテムを展開すると、サ
ルしてください。見積りからサービスを除外するには、サ ビスに戻り請求のサ ビスのコン (を削除) してください。

この設定を保存して共有

名前: Test

含まれるもの: Web/APサーバ 1台 (EC2 Linux Small) Disk 100GB
DBサーバ 1台 (RDS MySQL Small Single-AZ) Disk 100GB
バックアップ 各50GB (Disk容量の50%)

説明: テスト用のWebアプリケーション

すべてのフィールドが任意です。

請求書を保存して、計算結果を共有するための URL を取得しますか?

キャンセル OK

6. 見積の名前、内容など分かりやすいようにフ
リーフォームで記入し、“OK”をクリックします。

\$	18.30
\$	12.00
\$	9.49
\$	5.00
\$	194.00
\$	
\$	

見積結果の共有

毎月の請求額の見積り

開始月の請求額を表示 (ある場合、1 回限りの支払いをすべて含む)

ついた分だけをお支払いいただけます。下記の月あたりの請求額の見積りをご覧ください。各アイテムを展開すると、サブサービスごとの見積りを確認できます。この見積りを保存して後からご覧ください。見積りからサービスを削除

保存して共有

計算結果が保存されました。

次の URL を使用して計算結果を取得したり、共有したりすることができます。

http://calculator.s3.amazonaws.com/calc5.html?lng=ja_JP#r=NRT&key=

AWS 簡易見積りツールをお使いいただきありがとうございます

OK

7. URLが発行されますので、こちらを保存、もしくは共有することで作成した見積情報をすぐに閲覧する事ができます。

\$	12.00
\$	9.45
\$	5.00
\$	194.00

見積結果の共有

- 7のURLを開くと、このように記入した見積に関する説明文が表示され、どんな構成の見積なのか確認する事ができます。

The screenshot displays the AWS Solution Pricing tool interface. At the top, it shows the monthly cost for the solution: **AWS でこのソリューションをデプロイする毎月のコスト: \$ 300.12**. Below this, a modal window provides details for a specific solution named "Test".

名前: Test

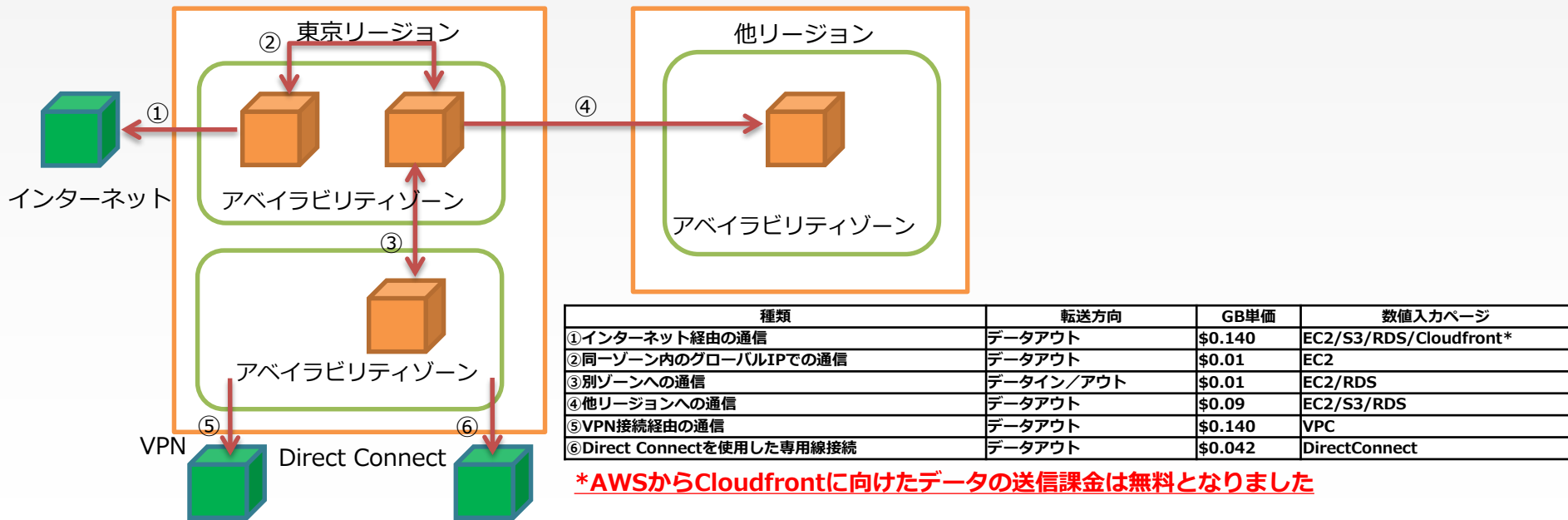
含まれるもの:
Web/APサーバ 1台(EC2 Linux Small) Disk 100GB
DBサーバ 1台(RDS MySQL Small Single-AZ) Disk 100GB
バックアップ 名50GB(Disk容量の50%)

説明:
テスト用のWebアプリケーション

At the bottom of the modal, there are two buttons: "戻る" (Back) and "詳細" (Details).

データ転送量の入力について

- EC2/S3/RDS/VPC/CloudFrontそれぞれにデータ転送の記入欄がありますが、各サービス毎に分けて入力していただいても、まとめていずれかのサービス項目に入力いただいてもデータ転送料の合計は同じです。



参考情報

- AWS Simple Monthly Calculator
http://calculator.s3.amazonaws.com/calc5.html?lng=ja_JP
- AWS見積の考え方ご説明資料
http://media.amazonwebservices.com/jp/cost/AWS-RatesSystem-JP_201310.pdf
- クラウド推奨構成とお見積り例
<http://aws.amazon.com/jp/cdp/>
- TCO 比較計算ツール
<http://aws.amazon.com/jp/tco-calculator/>
- 本資料へのお問合せ
<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

